

青年委員会だより

令和8年3月1日 (第287号)

青森県建築士会青森支部青年委員会



令和7年度 地域実践活動発表会

2月7日 アウガ5F研修室にて、令和7年度 地域実践活動発表会が行われた。参加支部は青森支部、十和田支部、下北支部の3支部。参加予定だった三沢支部は、雪の影響により不参加となった。

開催の挨拶で飯田会長は「他県では支部を越えた活動も行われている。お互いの発表を見て、青森県でも支部を越えた活動を考えていきたい」と述べた。

審査員は飯田会長、今副会長、黄金崎青森支部長を含む11名。発表後の投票により、県代表として東北ブロック大会へ進む支部が決定する形式で行われた。今回は青森支部のみが発表を行い、十和田支部と下北支部は活動報告となったため、県代表は満票で青森支部に決定した。

青森支部は、今年度再構成された小中学生向け体験型ワークショップ「こども建築アカデミア」について発表。全ブースを巡りながら一棟のお家を完成させる新形式の導入や、これまでの経緯や運営上の工夫、参加した子どもたちの反応などを紹介した。

十和田支部は「とワーキング」(「十和田」×「働く」)における取り組みを報告した。中高生が小学生のために企画・運営する職業体験の一環として行われた設計CAD体験では、スタッフのサポートのもと、部屋の大きさを学んだり、3Dで自分の家を描いたりする内容が実施された。

下北支部は、昨年度東北ブロック大会に出場した「おうちばこ」を、今年度も引き続きしもきた克雪ドームで開催したことを報告した。準備された段ボールキットを組み立て、シールを貼ったり絵を描いたりして完成させるワークショップである。完成した子どもたちには三級建築士が授与され、参加者は180名にのぼった。



(青森支部発表より)



講評で三上まちづくり委員長は「今年度は子どもたち対象の取り組みが多かったが、未来を担う子どもたちが楽しめる体験は重要であり、ぜひ継続してほしい」と述べた。

発表会後は、和み居酒屋や 湊つくしにて懇親会が開催され、発表会参加者15名が参加。和やかな雰囲気の中で、支部を越えた交流が深められた。

県代表として、東北ブロック大会での発表に向け、より伝わる内容となるよう準備を進めていく。

第5回 青年委員会定例会

2月20日 アウガ5F 小会議室にて、青年委員会定例会が開催された。松野委員長よりいただいた仙台土産「晒よし飴」を囲みながら、出席者6名で行われた。議題と内容は下記の通り。

— 地域実践活動発表会について —

2月7日に開催された地域実践活動発表会にて、青森支部が青森県代表に決定した。発表時間は7分以内の規定であることから、前回約6分であった内容をさらに改良し、次回定例会にて見直す予定。

発表は黒滝、黄金崎(惇)さんの2名体制で臨む。

— 東北ブロック青年大会について —

3月28日 十和田市にて令和7年度 東北ブロック青年大会が開催予定。松野委員長をはじめ、青森支部からは4名が参加予定。

令和7年度も残すところあと1ヶ月となりました。次回も皆さまのご参加を心よりお待ちしております！



— 今後の活動予定 —

- 3月13日 第6回 青年委員会定例会
- 3月28日 東北ブロック青年大会 (十和田市)
- 4月24日 第6回 青年委員会定例会
- 5月11日 令和8年度 支部総会

その他、役員会等は決定次第案内される。

青木淳 基調講演 **青森の文化を世界へ発信**
 — 青森県立美術館に見る地域の特異性と世界の普遍性 —



3月14日 建築家 青木淳氏を講師に迎え、「青森の文化を世界へ発信—青森県立美術館に見る地域の特異性と世界の普遍性—」をテーマに基調講演が開催。青木氏が関わった青森県立美術館を手がかりに、青森の文化や建築のこれからを考える機会となる。

日時：3月14日(土) 15:20 -

場所：ホテル青森 3F
 青森市堤町1-1-23

※参加無料、事前申込。
 右記方法よりお申込みください

申込締切：3月7日(土)

■QRコード 受付専用フォーム



■メール

aomorirc@jomon.ne.jp

■FAX

017-777-9691



青木 淳 (Jun AOKI)

神奈川県生まれ。東京大学修士課程建築学修了。磯崎新アトリエを経て、1991年独立。
 手掛けた作品は、1997年に吉岡賞を受賞した住宅「S」をはじめ、1999年に日本建築学会賞を受賞した湯博物館など多岐にわたる。
 2005年には青森県立美術館、2020年には京都市京セラ美術館の改修設計にも携わり、現在同館の館長も務める。
 2025年第19回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展日本館キュレーター。設計のみならず、新たな設計概念の構築や、建築・アート批評などの領域でも活躍されている。

東北ブロック大会開催地
 — 十和田の建築 —

3月28日に東北ブロック大会が開催される十和田市は、近年「アート・アンド・クラフトのまち」として知られている。西沢立衛氏設計の十和田市現代美術館をはじめ、隈研吾氏や安藤忠雄氏らによる建築が点在し、建築の観点からも関心を集めているまちである。



式典会場予定の十和田市地域交流センター「とわふる」は藤本壮介氏設計。「アートのまちのリビング」をコンセプトに、中庭を囲む構成が特徴である。

現代建築が集積することに賛否もあるが、とりわけ十和田市現代美術館がまちに与えた影響は大きい。現代アートを幅広い層が身近に楽しめる環境が広がり、開館以来高い人気を保っている。十和田は、建築やアートがまちに与える影響を考える一つの事例ともいえる。

Information
 3月

3月13日(金) 18:30 -
 ◆青年委員会 定例会
 (アウガ5F 小会議室)

16日(月) ※申込締切
 ◆一級建築士定期講習
 (オンライン講習)

視聴期限：3月31日(火)



21日(土) 17:00 - 20:00
 ◆ナイトミュージアム
 (青森県立美術館) ※最終入場 19:30

26日(木) 9:00 - 16:50
 ◆二級建築士定期講習

(日建学院 青森校)

申込締切：3月12日(木)



28日(土)

◆第15回
 東北ブロック青年大会 あおもり大会
 (十和田市地域交流センター とわふる)

- 4月12日(日)

◆コレクション展 2025-4

【特集展示】後期：コスモスの咲くとき
 —地域に学び、平和を刻む教育版画の“いま”
 (青森県立美術館) ※他特集展示あり

BOOK PICKS



原っぱと遊園地2
 見えの行き来から生まれるリアリティ
 著者：青木淳 / 発行年：2008年 / 王国社

『原っぱと遊園地』第2弾。人が使うことで使い方を発見できる「原っぱ」的空間に、「見えの行き来」というルールを強く作用させて実現した青森県立美術館。その場の確かな存在を感じながらも、それが絶対ではなくすぐ裏切られる宙吊りの感覚が生まれている。

編集 / 黒滝 和

青年委員会 定例会 3月13日(金) 18:30 ~ (アウガ5F 小会議室)

参加ご希望の方は 下記へご記入の上ご返信ください

FAX : 017-771-4320 / mail : info@aaba.gr.jp

氏名

TEL